

## 1210 | 日本画 VII

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

重政啓治教授、尾長良範教授、神彌佐子講師、東俊行講師、星見講師、和田雄一講師

## 授業の概要と目標

自由なテーマで日本画表現を学ぶ。個々にあったテーマ、素材や表現方法を探り、自己のオリジナルな表現へと展開して行く。独自の表現、描きたいものは何か、ということを常に問題意識として持ち、テーマの内容と日本画の素材との必然性を考えながら、制作する上での確かな描写力、技術力、表現力を追求する。

通信授業、面接授業ともに、卒業制作取り組み前の科目として自己の課題の研究に取り組む。

## 課題の概要

## ○通信授業課題「自由制作」

自己の制作をする為の資料として、各自それぞれの手法でデッサンをし、又は素材の引用などを行い下図やアイデア画を描く。さらにそれをもとに日本画制作をする。

## ○面接授業課題「自由制作研究」

「自由に描く」をテーマに、自己の課題を考え、高い完成度を目標に 50～100 号の日本画制作をする。

## 授業計画

## [通信授業]

学習指導書『日本画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成 29 年度』の「日本画Ⅶ」、教科書『日本画・表現と技法』、『現代日本画の発想』をもとにした授業。

## [面接授業]

第 1 日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（下図研究）
第 2 日	午前：裏打ち指導（ゼミ）	午後：制作
第 3 日～5 日	午前：制作	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

## 成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] 「日本画Ⅵ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること（『学生ハンドブック』p.049 の特例を除く）。

[備 考] 油絵学科日本画コース 4 年次必修科目。

「日本画Ⅵ」を同時に履修する場合は、「日本画Ⅵ」のスクーリングを先に受講すること。

## 教材等

教科書：『日本画 表現と技法』（武蔵野美術大学出版社 2002 年）

『現代日本画の発想』（武蔵野美術大学出版社 2004 年）

学習指導書：『日本画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）